

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：林業振興費

事業名 循環型森林経営推進事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 森林整備課 スマート林業推進係 電話番号：058-272-1111(内3252)

E-mail：c11515@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 10,000 千円 (前年度予算額：10,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	10,000	10,000	0	0	0	0	0	0	0
要求額	10,000	10,000	0	0	0	0	0	0	0
決定額	10,000	10,000	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

戦後造林した人工林が本格的な利用期を迎え、地域の森林資源の循環利用を進め林業の成長産業化を図ることにより林業を活性化させる林業成長産業化地域創出モデル事業【国補助】が創設された。

岐阜県においても人工林資源が充実しており、木材資源の循環利用を進め林業の活性化に取り組む必要が生じている。

県内の木材加工施設へ木材の安定供給を図る必要があるが、森林所有者の高齢化により所有境界が不明確な森林が増加傾向にあるため事業地の集約化を効率的に行い地域の木材資源を有効に活用する仕組みづくりが求められている。

(2) 事業内容

(ア) 事業目的・事業効果

ICT/IOT技術を活用し施業集約化、事業管理、木材生産、木材流通までを一体的に行い、木材の安定供給体制を整備するモデル的な取り組みについて補助する。

(イ) 内容

国に承認された林業成長産業化地域構想（郡上地域）の目標達成に必要なソフト事業の経費を支援

※主な支援対象：システム作成経費、現状調査及びコンサル料、協議会運営費等

(3) 県負担・補助率の考え方

国10/10（国：林業成長産業化地域創出モデル事業）

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	10,000	郡上市、郡上地域森林マネジメント協議会、郡上森林組合
合計	10,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第4期岐阜県森林づくり基本計画（予定）

第2 林業・木材産業の振興

2 DXの推進による林業・木材産業改革

2-2 木材の安定供給と森林所有者への利益還元

(2) 国・他県の状況

国は平成29年度に制度を創設し、平成29～30年度にかけ24県28地域が林業成長産業化地域に選定されている。

(3) 後年度の財政負担

なし（国補事業が地域指定型で平成30～令和4年度の5年間の継続事業）

(4) 事業主体及びその妥当性

1) 事業主体：郡上市、郡上地域森林マネジメント協議会、郡上森林組合

2) 妥当性：国補助事業（林業成長産業化総合対策実施要綱）に規定された事業主体であり、かつ林業成長産業化地域創出モデル事業として国の承認を得ており、事業主体として妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

国の承認を受けた「林業成長産業化地域構想（郡上地域）」に基づき、郡上地域における素材生産量150千m³の実現を目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H28)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R4)	達成率
①郡上地域の素材 生産量(千m ³)	103	112	140	150	150	75%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 郡上市（大和地区、白鳥地区）民有林のLiDARデータ解析 郡上地域林業サプライチェーンマネジメントシステムの設計のための仕様書作成 <p>協議会が活動するうえで必要な森林情報及びシステム設計に向けた情報が整備され、今後協議会が行う基盤の整備を進めることができた。</p>
令和3年度	<p>令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 3	(評価) ICT/IoT技術を活用し施業集約化、事業管理、木材生産、木材流通までを一体的に行い木材の安定供給体制を整備するモデル的な取り組みであり、その結果を県下全域に広めることができる。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 1	郡上地域における素材生産実績は目標値を下回る結果となった。新型コロナウイルス感染症の影響で木材需要が落ち込み、素材生産業者が生産調整を行ったことが要因と考えられる。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 1	国補事業の林業成長産業化地域創出モデル事業を活用し、モデル的に取り組む郡上地域の取り組みを支援することにより、その成果を県内に広めることが期待できる。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 令和4年度で事業が終了するため、取り組み成果の検証と、県内普及が課題となる。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 令和4年度で事業が終了するため、今後は取組成果の県内普及を支援していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	